

キケン、ムダな咲洲庁舎から撤退し、「二重庁舎」を解消

元府議会議員



防災拠点にならない危険でムダな咲洲庁舎(旧WTCビル)から撤退。大手前庁舎との「二重庁舎」の解消

大阪府の本庁舎の咲洲への移転案は、2009年2月と9月の2度の府議会で否決。しかし2009年9月議会で購入案を可決し、性急に一部の部局を移転させました。

3・11東日本大震災では咲洲庁舎が大きな被害を受けたにもかかわらず、現知事は、2000人もの職員が働く咲洲庁舎の存続に固執しています。

咲洲エリアの活性化のためにも「咲洲庁舎は必要」

現知事

2009年

2009年2月 府議会

庁舎の全面移転条例案と購入議案を否決

2009年9月 府議会

庁舎の全面移転条例案を否決、WTCビル購入議案は可決

2010年

2010年6月

WTCビルを85億円で購入大阪府咲洲庁舎に

2010年11月

一部部局の移転を開始
2011年5月までに職員2000人(4割)を移転

2011年

2011年3月11日

東日本大震災
咲洲庁舎、震度3で天井や壁など360ヵ所が損傷

2011年8月

「咲洲庁舎の防災拠点のあり方等に関する専門家会議」
専門家の意見を受け
知事「全面移転断念」を表明

2015年11月 W選挙

大手前庁舎と咲洲庁舎との「二重庁舎」の解消が争点に



撤退しないと30年間で1201億円に

咲洲庁舎のために、これまでの5年間で購入費などで134億円。今後30年間で維持補修などで1201億円もかかります。咲洲庁舎から撤退する方が145億円も安くなるという試算もあります。

〈防災専門家〉



咲洲庁舎は防災拠点になりえない

防災専門家は、南海トラフ地震で、咲洲庁舎は往復13メートル大きく揺れ、大津波が来れば庁舎周囲は浸水する可能性があることも明らかにし、「防災拠点は現庁舎(大手前)が筋」と咲洲庁舎が防災拠点になりえないと指摘しています。



府民の声

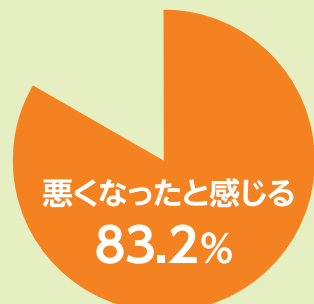
早く元の大手前庁舎に戻してほしい

大阪城周辺には、大阪法務局や府税事務所などの関係施設があるのでどうして、倍ほどかかるWTC咲洲庁舎まで行かなければならないのか、無駄遣いであり、大阪府民にコスト負担を押し付けている。早く元の大手前庁舎にもどしてほしい。(箕面市在住の建設業者)

府職員も83%が「府民の利便性は悪くなったと感じる」——府職員アンケート結果

「まちがって大手前庁舎に来られる府民の方がたくさんおられ、咲洲庁舎を案内するが気の毒になる」「来庁者から咲洲まで来るのにお金も時間もかかるとよく叱られる」など、「咲洲庁舎」や「二重庁舎」による不便さを訴える府民の声がアンケートに反映されています。

府民の利便性についてどう感じますか



大阪府関係職員労働組合『咲洲庁舎に関する職員アンケート』(2015年9月)から